

会議結果報告書

1. 会議名 令和7年度第2回印西市環境審議会
2. 日時 令和7年10月31日(金) 14:00～16:00
3. 場所 印西市役所1階 農業委員会会議室
4. 出席委員：井上委員、小熊委員、下野委員、丹澤委員、岩井委員、薄井委員、山口委員
伊藤委員、松原委員、矢野委員、服部委員、高橋委員
事務局：印西市長、伊藤環境経済部長、富澤環境保全課長、稲葉環境保全課長補佐
増田保全係長、浅井主査補、劉主任主事
その他：STT GDC Japan 株式会社 5名
5. 傍聴者 2名
6. 配布資料
 - ・会議次第
 - ・印西市環境審議会委員名簿
 - ・印西市環境審議会条例(資料①)
 - ・第3次印西市環境基本計画抜粋(資料②)
 - ・印西市環境基本条例(資料③)
 - ・いんざいカーボンニュートラル・チャレンジ2050抜粋(資料④)
 - ・データセンター事業におけるカーボンニュートラルの取組みについて
7. 内容
 - (1) 開会
 - (2) 委嘱状の交付
 - (3) 市長挨拶
 - (4) 自己紹介
 - (5) 議事
 - ①会長及び副会長の選任について
仮議長：会長が決まるまでの間、仮議長を務めさせていただく。
議題(1) 会長及び副会長の選任について、印西市環境審議会条例第5条第1項では、審議会に会長及び副会長を置き、委員の互選により定めるとしている。
令和9年9月30日までの会長及び副会長の選出をお願いします。どなたか立候補または推薦はあるか。
委員：事務局一任でいかがか。
仮議長；事務局一任という声があったがいかがか。

委 員：異議なし。

事務局：深い知見と豊富な経験をお持ちの井上委員に会長をお願いできればと思うがいかがか。

委 員：異議なし。

仮議長：井上委員、お引き受けいただけますでしょうか。

委 員：引き受ける。

仮議長：それでは、会長は井上委員に決定する。

続いて、副会長の選出を行う。どなたか立候補または推薦はあるか。

委 員：事務局一任でいかがか。

仮議長：事務局一任という声があったがいかがか。

委 員：異議なし。

事務局：前任期でも副会長を務めていただいた丹澤委員に副会長をお願いできればと思うがいかがか。

委 員：異議なし。

仮議長：丹澤委員、お引き受けいただけますでしょうか。

委 員：引き受ける。

仮議長：それでは、副会長は丹澤委員に決定する。

②印西市環境審議会について

—事務局より、印西市環境審議会について説明—

議 長：只今の説明について意見やご質問はあるか。

委 員：印西市に現在あるデータセンターの消費電力量はどれくらいになる見通しか。

事務局：申し訳ありませんが現在のデータセンターの電力消費量については把握しておりません。

委 員：今日いただいたデータセンター事業者の資料の中に消費電力の記載があったので、各データセンターからそのような資料が提出されているのではないか。

事務局：この後のSTT GDC Japan様の発表の中で説明いただければと思う。

議 長：冒頭の市長のお話では群馬県に匹敵する消費量になると話があった。この後、お話しただけだと思う。

委 員：資料4の2030年度目標、2050年目標の数値について令和2年度時点で把握しているデータセンターの数字は入っているという認識でよいか。

事務局：いんざいカーボンニュートラル・チャレンジ2050については、令和2年度の国が公表している情報をもとに策定している。

委員：データセンター自体で温室効果ガスを発生させているのではなく、大量の電気を消費するということで、印西市が発電している電力会社に温室効果ガスを排出させているという考え方でよろしいか。

事務局：火力発電であれば温室効果ガスを多く排出することになり、風力などの発電であれば少なくなるので、発電方法によって温室効果ガス排出量は変わるが、電力消費量が増えることで間接的に温室効果ガスを排出しているといえる。

委員：資料4で2030年までに2020年比で温室効果ガスの排出量を40%削減するという計画になっているが、現時点ではどれくらいになっているか。

事務局：現時点で最新の数値については、2020年のものしか確定していない。1月に行われる予定の環境施策の進捗状況の報告の際に、2021年の温室効果ガス排出量を報告できる。

委員：人口も増えており、目標値のマイナス40%は難しいので実現可能な数値目標の見直しは考えているか。

事務局：前計画では平成25年度比で46%削減を目指していたが、人口の増加や企業進出等も考慮して目標の設定をしたので実現可能な数値であると考えている。

委員：温室効果ガスの排出量はどのようなデータを使用しているか。

事務局：温室効果ガスの排出量については、環境省のガイドラインをもとに人口や事業所の面積などから算出している。大規模排出事業所については、国の公表制度をもとに情報収集している。

議長：他に意見やご質問はあるか。他になければ本日の議事はこれで終了させていただく。

(5) その他

データセンター事業におけるカーボンニュートラルの取組みについて

(6) 閉会

以上

令和7年度第2回印西市環境審議会の会議録は、事実と相違ないことを承認する。

令和7年12月8日

印西市環境審議会 委員 小熊 清

印西市環境審議会 委員 下野 綾子